

令和4年度は、新規設立を目指す取組を引き続き支援するとともに、課題となっている地域S Cの「質の向上」に向け、従来の活動を発展させ、複合的な事業にチャレンジする取組を支援する。

① 設立支援事業 採択事業一覧（4件）

都道府県 市区町村	支援内容
宮城県石巻市、神奈川県松田町、鹿児島県大崎町、 沖縄県石垣市	地域スポーツコミッションの設立に向けた、幅広い関係者の合意形成、設立準備のための会議、基本計画の策定検討、シンポジウム開催等の取組に対し、支援を実施した。

② 活動支援事業 採択事業一覧（14件）

都道府県 市区町村	団体名 ※下段：主な参画団体	事業内容・目的
北海道 壮瞥町	そうべつアウトドアネットワーク	【取組内容】 アウトドアによる地域の学びとスポーツツーリズムによる地域活性化の取組
	特定非営利活動法人そうべつ地遊スポーツクラブ 壮瞥町体育協会 有限会社オロフレリゾート YFC 壮瞥 壮瞥町スポーツ推進委員 など	【事業目的】 地域スポーツコミッションを核として、官民連携でアウトドア体験等によるインナー向けの地域の魅力再確認と運動・学びの機会を創出し、スポーツツーリズム・スポーツイベントの開発によるアウトター誘客と地域活性化に取り組む。スポーツコミッション運営とアウトドア・スポーツツーリズム推進のための人材育成。
北海道 美瑛町	美瑛町	【取組内容】 ①丘のまちびえいセンチュリーライド事業 ②丘のまちびえいスノーサイクルフェスティバル事業
	特定非営利活動法人美瑛エコスポーツ実践会・一般社団法人美瑛町観光協会・美瑛町農業協同組合・美瑛町商工会・びえい白金温泉観光組合・丘のまちびえいDMO・一般財団法人丘のまちびえい活性化協会・びえいスノーサイクルフェスティバル実行委員会・美瑛町サイクリングクラブ・美瑛町自転車愛好団体「Rolling Hills Cyclist」	【事業目的】 美瑛町の美しい農村景観の中で自転車で走る楽しさ、喜びを広く周知することで、健康増進と環境保全等の意識を向上し、サイクリングの普及を通して地球環境にやさしいエコスポーツ・地域スポーツの振興を図り、健康で明るい社会づくりと地域活性化を図る。
北海道 名寄市	Nスポーツコミッション	【取組内容】 Nスポーツコミッションによる“スポーツを通じた地域活性化”の取組
	構成：20団体 委員数29名 ①まちづくり団体（3団体） ・NPO法人なよろ観光まちづくり協会・（一社）名寄青年会議所・名寄商工会議所青年部 ②スポーツ団体（3団体） ・（一社）風連スポーツクラブポポ・（一財）名寄市体育協会・なよろファミリースポーツ ③経済団体（2団体） ・風連商工会・道北なよろ農業協同組合 ④民間企業（5団体） ・名寄旅館業組合・味の素(株)・(株)名寄振興公社・大野土建(株)・(有)川原観光 ⑤福祉団体（2団体） ・（社福）なよろ陽だまりの会・（社福）名寄市社会福祉協議会 ⑤金融機関（3団体） ・北星信用金庫・北洋銀行名寄支店・北海道銀行名寄支店 ⑥行政、教育（2団体） ・名寄市・名寄市立大学 ※オブザーバー：国土交通省北海道開発局旭川開発建設部	【事業目的】 ①経営多角化に向けた事業計画の策定 Nスポーツコミッションの法人化、自走化を目指すとともに、収益事業を構築し、収益を地域に還元できる組織運営計画を策定する。 ②地域外からの通年型の誘客拡大を図るアウトター施策 地域資源である自然環境や競技施設の有効活用によるインバウンドも含む誘客事業の構築を目指す。 ③住民向けの継続的な交流人口拡大を図るインナー施策 スポーツによるまちづくりを発展させるため、更なる市民の主体的な参加、啓蒙を目的とした事業を実施。

<p style="text-align: center;">スポーツコミッション大館</p> <p>【構成団体 13団体】 一般財団法人大館市スポーツ協会、一般財団法人大館市文教振興事業団、スポーツクラブひない、たしろスポーツクラブ、大館商工会議所、大館北秋商工会、大館市身体障害者協会連合会、一般社団法人大館市観光協会、一般社団法人秋田犬ツーリズム、株式会社北鹿新聞社、秋北航空サービス株式会社、ニューデジタルケーブル株式会社大館ケーブルテレビ、大館市</p> <p>【事業連携パートナー 6団体】 株式会社ブラウブリッツ秋田、秋田ノーザンハピネッツ株式会社、一般社団法人秋田ノーザンプレッツラグビーフットボールクラブ、株式会社プレステージ・インターナショナル アランマーレ事業部、コネクト株式会社、株式会社アールビーズ、【事務局】大館市観光交流スポーツ部スポーツ振興課</p>	<p>【取組内容】</p> <p>①SNSによるスポーツ合宿・スポーツイベントの誘致 ②アクティビティの「担い手育成」と「関係者との合意形成」 ③オリパラ・レガシーとトップチームによるスポーツインライフ推進と交流人口拡大</p> <p>【事業目的】</p> <p>①スポーツ合宿とスポーツイベントによる交流人口と関係人口の拡大に取り組む。令和4年度は、新たな誘致方法への取組として、施設紹介動画を制作、SNSなどのインターネット媒体で配信することで全国に向けた誘致活動に取り組み「スポーツのまち大館」のアウトブランディングを進め、大館の情報を必要な人にダイレクトに発信する仕組みをつくる。さらに、合宿誘致による人のつながり、トップチームとの連携により全国・東北規模大会やスポーツイベントの招致活動を行うとともに、イベント等の準備、運営、会場施設の不足設備・備品等の手配などワンストップでの開催支援を行う。参加者と関係者による宿泊や飲食の経済効果による地域活性化を目指す。</p> <p>②世界自然遺産の東端に位置する田代岳の自然を活かして、アウトドアスポーツツーリズムによる国内外の観光客の誘客による交流人口及び関係人口の拡大、宿泊等による経済波及による地域活性化を目指す。将来的に本事業の年間観光客4,000人を目指す。令和3年度は、本事業が持続可能なビジネスとして成立するかの現地調査を行い、アクティビティを行う「場所」になること、ビジネス化のためには「担い手」が必要であることを確認した。令和4年度は、アウトドアアクティビティを持続可能なビジネスとして成立させるために必要不可欠な「担い手」について、ガイドやインストラクター志望者のUターンやIターンも視野に入れて人材の育成に取り組む。また、通年で誘客するために、雪国ならではのアクティビティの創出に取り組むとともに、アウトドアアクティビティによる地域活性化について地域の幅広い関係者の合意を形成するための研修会を行い、本事業への理解者と協力者づくりに取り組む。</p> <p>③SC大館の事業連携パートナーとの協働によるスポーツ教室開催や友好都市とのスポーツ交流により、スポーツインライフの推進とともに継続的な交流人口の拡大を目指す。「ポッチャのまち」「ジュニアアスリート育成のまち」としてのアウトブランディングの定着と交流人口拡大のための「仕組み」を確立する。スポーツ交流を東北規模や全国規模のスポーツ大会誘致につなげるとともに、スポーツ愛好者との関係人口拡大で、スポーツによる人のつながりをビジネスのつながりに発展させ地域活性化を推進する。子どもを対象にしたスポーツ教室を通じて、子どものスポーツ人口の増加を図り子ども世代と親世代の2つの世代の交流を生むとともに次世代につながる交流をつくりだす。著名な講師やトップスポーツチームによるスポーツ教室やスポーツ都市間交流イベントがマスメディアで報道されること、教室やイベントの様子をインターネットメディア（SNS等）で発信することで、SC大館の活動を支援・スポンサーとなる企業の獲得を図る。</p>
<p style="text-align: center;">一般社団法人笠間スポーツコミッション</p> <p>茨城県笠間市</p> <p>笠間市、笠間市スポーツ協会、笠間観光協会、笠間市商工会、東日本旅客鉄道(株)、(株)ムラサキスポーツ、笠間自転車de街づくり協会、(株)茨城新聞社、明治安田生命保険相互会社、(株)茨城県民球団</p>	<p>【取組内容】</p> <p>①事業計画の策定 ②第1回茨城県知事杯キッズスケートボード大会 in かさま ③キッズ合宿 ④スケートボード関連商品の開発講座の開催及び開発支援 ⑤笠間スポーツコミッションWEBページの作成 ⑥スケートボードフィットネスの開発 ⑦小学校との連携事業 ⑧スポーツボランティアの組織・運営</p> <p>【事業目的】</p> <p>①新たなアウトターやインナー事業の推進を含めた多角的な事業展開にチャレンジするため、事業計画を作成する。また、笠間スポーツコミッションについて、早期の法人化を目指す。</p> <p>②茨城県内外の子どもたちに、多くの観客の前でスケートボード競技実践の機会を作ることにより、技能およびモチベーションの向上を図る。また、大会を継続的に開催することにより、普段大きな大会に出場する機会のない子どもたちが、出場できる大会として毎年開催し、定着を図るとともに、大会会場であるムラサキパークかさまの利用促進に繋げる。</p> <p>③国内有数のスケートパークであるムラサキパークかさままでスケートボード体験をしてみようとともに、笠間市の観光や文化に触れてもらう等、付加価値の高い、充実した内容の合宿を開催することにより、全国からのアウトターの来訪を促進する。</p> <p>④市内の事業者へ、スケートボードに関連した商品を開発してもらい、それを大会やツーリズム内で活用しながら、知名度を上げ、将来的には地域の目玉商品にすることを旨とする。</p> <p>⑤笠間スポーツコミッションの情報については、現状として笠間市の公式ホームページ内のトピックとして掲載されているが、そのままでは、デザイン等の面で他の笠間市の記事に埋もれてしまい、スポーツ関連事業の告知や募集に向けてPRが不足してしまう状況にあるため、笠間スポーツコミッションのWEBページを新たに作成し、大会の開催告知や参加者の募集、市内のスポーツ施設等の紹介を行う。また、作成にあたっては、スマートフォンでも見やすい画面作り等、デジタル世代にも訴求力のある見栄えの良いWEBページにする。</p> <p>⑥スケートボードは若者への普及は展望が持てるものの、その競技特性から幅広い世代に訴求することは難しい。しかし、体幹やバランス感覚を養うには有効なツールであることから、フィットネスの分野での活用により、スケートボードの新たな展開を図る。また、笠間SCの自立に向けた、自主事業（収益事業）として育てることを目指す。</p> <p>⑦市内小学生を対象に、スケートボードを体験してもらうことにより、市内の競技人口の増加、施設の利用促進を促す。</p> <p>⑧スポーツ関連事業については、通常、業者への委託や職員の動員などで運営しているが、ボランティアの活用により、市民の参加意識（ささえるスポーツ）の高揚、低コストのイベント運営、大会等誘致の際の優位性につながる。また、ボランティアとして活動してもらうことにより、スポーツ事業への理解を深めてもらう。</p>

山梨県 斐崎市	斐崎市スポーツコミッション	【取組名称】 斐崎市スポーツコミッション経営多角化事業
	斐崎市、斐崎市教育委員会、斐崎市体育協会、斐崎市商工会、総合型地域スポーツクラブ、市内民間スポーツ団体、市内保育団体、地元金融機関、民間イベント企業、プロトレイルランナー、プロスポーツ組織、大学、宿泊業者（山岳）	【事業目的】 令和4年度において、斐崎市スポーツコミッションの多角化経営を推進し、我が国初のトレイルランニングの聖地化、地域スポーツの再生及びスポーツツーリズムの確立を目指すため。
長野県 長和町	長和町スポーツコミッション	【取組名称】 長和町スポーツコミッション
	長和町、長和町スポーツリゾート推進委員会、ブランシュたかやまスキーリゾート、エコパレスキー場、長和町商工会、霧ヶ峰・美ヶ原 中央分水嶺トレイル運営部会、RUN&BEER NAGAWA実行委員会、プロスノーボーダー、信州・長和町観光協会	【事業目的】 今年度事業の柱は「サバイバルゲーム導入事業」と「ジャンプ練習施設検討調査事業」です。共にグリーンシーズンのスキー場利用方法を念頭に立ち上げた事業であり、これまでの長和町の観光スタイルを変えていくことを目的としています。また、「藤森由香協働事業」では、町出身オリンピックである藤森由香氏の発信力を活用し、当コミッションの知名度向上から新規ファン獲得の狙いがあります。
長野県 軽井沢町	軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会	【取組名称】 「カーリングの町・軽井沢」へ。カーリングを軸とした地域活性化事業
	軽井沢町、軽井沢カーリングクラブ、総合型地域スポーツクラブ NPO 法人 スポーツコミュニティ軽井沢クラブ	【事業目的】 「カーリングの町・軽井沢」のブランディングと認知拡大
静岡県	静岡県西部地域スポーツ産業振興協議会	【取組名称】 小笠山総合運動公園を核としたスポーツ大会等開催・合宿誘致推進事業
	自治体（県、浜松市等7 団体）、商工会・商工会議所、観光協会、体育協会、民間企業等計41 団体	【事業目的】 県内のスポーツ施設と連携し、問い合わせの多いラグビー合宿を着実に受け入れることにより、合宿の実績を積み上げるとともに、スポーツ施設が1点集中型ではなく、県内に点在している本県の特徴を活かした小笠山総合運動公園を拠点とした静岡型合宿を確立する。
静岡県 御殿場市	スポーツタウン御殿場推進協議会	【取組名称】 ①東京2020大会レガシー空手大会「空手道Karatedo Mt.Fuji Junior Championship in Gotemba」の創設 ②空手ツーリズム実施に向けた土台づくり ③期間分散型サイクルツーリズム「ツール・ド・チャレンジ」の展開 ④サイクリストへの地域観光資源のPR
	御殿場市、(一社)御殿場市観光協会、御殿場市商工会、NPO 法人御殿場市スポーツ協会 他、全30 団体	【事業目的】 【目的 1】空手が盛んなまちの認知拡大・定番化 【目的 2】御殿場西高等学校空手道部に憧れる空手キッズの創出 【目的 3】空手に携わることの無かった層への空手の魅力認知拡大 【目的 4】サイクリストへの地域観光資源のPR

愛媛県	愛媛県自転車新文化推進協会	<p>【取組名称】 持続的なサイクリングガイド提供体制構築事業</p> <p>【事業目的】 昨今のコロナ禍におけるサイクリングガイドニーズの増大・多様化や、アフターコロナにおいて見込まれるインバウンドの増加に適切に対応しながら、新規ガイド養成や分野別研修等の人材育成のノウハウ構築のほか、ガイド活用ツアーの誘致によって、持続的なサイクリングガイド提供体制の構築を図る。</p>
	愛媛県、愛媛県サイクリング協会、愛媛県観光物産協会等の企業・団体 計153団体	
高知県	一般社団法人 高知県スポーツコミッション	<p>【取組名称】 ①プロスポーツ・アマチュアスポーツ等の合宿や大会誘致（地域外からの通年型の誘客拡大を図るアウトター施策） ②海外団体の誘致及び国際スポーツ交流事業（住民向けの継続的な交流人口拡大を図るインナー施策、地域外からの通年型の誘客拡大を図るアウトター施策） ③武道ツーリズム・アウトドアツーリズムの推進（地域外からの通年型の誘客拡大を図るアウトター施策） ④指導者・トップアスリート派遣マッチング事業（住民向けの継続的な交流人口拡大を図るインナー施策） ⑤スポーツ交流イベント等の実施（地域外からの通年型の誘客拡大を図るアウトター施策、住民向けの継続的な交流人口拡大を図るインナー施策） ⑥スポーツマネジメント人材育成（住民向けの継続的な交流人口拡大を図るインナー施策）</p> <p>【事業目的】 ①プロスポーツやアマチュアスポーツにおける合宿や大会を新規誘致することにより、滞在日数や延べ泊数を拡大させ、観客動員数や参加者の増加による経済的効果の拡大を目指す ②スポーツにおけるインバウンド事業の拡大に向け、プロスポーツやアマチュアスポーツ、年齢層を問わず、海外スポーツ団体の新規誘致を目指す。また、県内学生との交流機会を創出し、グローバル人材育成のきっかけとなる事業となることを目指す。 ③高知県が誇る自然環境、温暖な気候、美味しい食、観光素材、歴史など、コロナ収束後を見据えて主に外国人旅行者向けの新たなツーリズムの仕組みづくりが必要。スポーツ庁が推進する武道ツーリズム及びアウトドアツーリズムにおいて、高知県としてもその素材は充実しており、新たな誘客の目玉として検討を重ねる ④指導者やアスリートを派遣することにより、部活動の改善、指導力向上による競技力の向上、中山間地域におけるスポーツ機会の創出など、高知県が抱えるスポーツに関する課題の解決を目指すこと。また、派遣により指導する場を確保することで、ビジネス創出にも繋がることを目指す。 ⑤オリンピッククラスや著名なトップアスリートを招聘し、ホンモノに触れる機会を提供しスポーツを始めるきっかけ作り、スポーツ機会の創出、競技力の向上、普及・促進など、様々な波及効果を狙ったスポーツイベントを実施する。 ⑥高知県と連携協定を締結する大阪体育大学をモデル校とし、高知県でのスポーツマネジメント人材育成のインターンシッププログラムを構築、実践する。</p>
	<p>【主要構成団体】 高知ファイティングドッグス、高知ユニテッドSC、学校法人龍馬学園、ミタニ建設工業株式会社、高知県立高知工科大学（経済・マネジメント学群）</p> <p>【支援連携団体】 高知県、高知県教育委員会、高知県議会、高知県スポーツ協会をはじめとする県内スポーツ関連団体、高知県観光コンベンション協会をはじめとする県内観光関連団体、大阪体育大学（高知県と連携協定を締結）、土佐経済同友会や高知県商工会議所等をはじめとする県内経済界及び民間企業</p>	
佐賀県武雄市	SAGA武雄温泉スポーツコミッション	<p>【取組名称】 ①スポーツツーリズムコーディネーター人材の育成と中期戦略の立案 ②アウトドアコンテンツの開発及びサービス展開 ③野球・ソフトボール場を活用したスポーツ合宿の誘致</p> <p>【事業目的】 ①本市にあるスポーツ施設や観光資源、自然資本やひいては、地域住民や事業者の人的資本及びその人と人とのつながりにあたる社会関係資本を最大限活用することが重要である。また、本市のスポーツツーリズム事業の実施には、本スポーツコミッションの事務局である市職員が担当するが人手は手薄な状況である。そのため、地域おこし協力隊で採用する2名の隊員と市内事業者を対象とし、地域全体でのスポーツツーリズムを推進するスキル向上を狙う。また、本スポーツコミッションの事業運営での金銭的、人的な自走化を中期目標とする。 ②コロナ禍が長引き、観光産業は大きな打撃を受けている状況である。一方で、各地方で見られる県内の魅力再発見を主としたツーリズムにより成功しているものも見受けられる。また、団体顧客の合宿や大会・イベント等の実施にはコロナ禍の影響もあり不確実性が高いためリスクである。そのため、本市から2時間圏内の商圏をエリアとした個人・小グループ（5名程度）へのアウトドアコンテンツへの潜在顧客ニーズを調査し、コンテンツ開発を行う。また、総合型地域スポーツクラブとタイアップした市民向けコンテンツも模索する。 ③令和4年度7月に武雄市民球場がリニューアルオープンする。これまで市街地にあった野球場だが郊外へ移動することにより軟式野球のみの利用から硬式野球の利用を可能とした用途が広がり、また、佐賀県内初の全面人工芝のグラウンドとした。この仕様により、芝生のメンテナンス期間を省略できることにより通年の利用も可能とした。そのため、県外を中心とした野球の合宿や市内チームを巻き込んだ大会イベント実施を計画することにより、市民の野球を通じたスポーツ振興及び産業振興を図る。</p>
	武雄市、武雄市観光協会、武雄温泉旅館組合、武雄商工会議所、武雄市商工会、武雄飲食業組合、一般社団法人武雄青年会議所、一般財団法人武雄市体育協会、武雄市身体障害者福祉協会、JAさが武雄杵島営農経済センター、株式会社ケーブルワン、祐徳自動車株式会社、一般社団法人武雄杵島地区医師会、佐賀大学、株式会社サガン・ドリームス、佐賀県、九州ひぜん信用金庫、武雄市教育委員会	
沖縄県沖縄市	一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会	<p>【取組名称】 沖縄市スポーツコミッション経営多角化プロジェクト（フランスバレーボール男子代表合宿受入）</p> <p>【事業目的】 大阪で開催される男子バレーボールネーションズリーグのプール5、大阪で開催される予選ラウンドの事前合宿を目的にフランスバレーボール男子代表が再び沖縄市で合宿を実施した。</p>
	沖縄市経済文化観光スポーツ振興課、沖縄市スポーツ協会・教育機関、おきなわスポーツイノベーション協会株式会社等	